

各市町村社会教育委員の 活動報告



令和5年度岡山県社会教育委員連絡協議会
研修会より

岡山県社会教育委員連絡協議会
令和6年3月

目次

1. 社会教育委員の役割	1
2. 参考になる文献・リンク	3
3. 第45回中国・四国地区社会教育研究大会島根大会・第46回 中国・四国地区社会教育研究大会徳島大会について	4
4. 各市町村社会教育委員の活動報告	
① 岡山市	5
② 倉敷市	6
③ 津山市	7
④ 玉野市	8
⑤ 笠岡市	9
⑥ 井原市	10
⑦ 総社市	11
⑧ 高梁市	12
⑨ 新見市	14
⑩ 備前市	15
⑪ 瀬戸内市	16
⑫ 赤磐市	18
⑬ 真庭市	19
⑭ 美作市	21
⑮ 浅口市	22
⑯ 和気町	23
⑰ 早島町	24
⑱ 里庄町	25
⑲ 矢掛町	26
⑳ 新庄村	27
㉑ 鏡野町	28
㉒ 勝央町	29
㉓ 奈義町	30
㉔ 西粟倉村	31
㉕ 久米南町	32
㉖ 美咲町	33
㉗ 吉備中央町	34

※本報告は、各市町村における「活動成果報告書」を基に作成しておりますが、体裁の都合上、一部編集を行っております。

1. 社会教育委員の役割

その1 自分のまちの社会教育の実情を知り、社会教育に関する諸計画を立案すること

自分のまちの社会教育の現状について積極的に把握します。そして、地域住民と行政の間に立って、住民の声を行政に反映させるための提案をします。

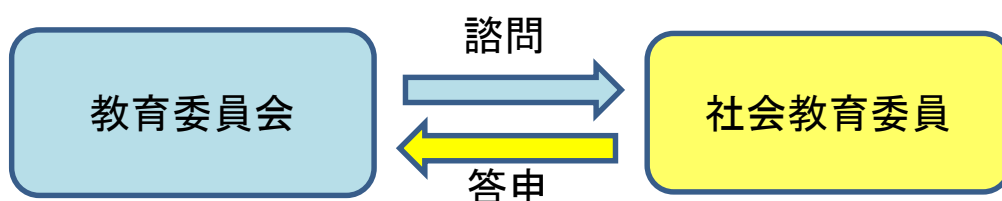
なお、社会教育委員は個人として任命される（独任制）ので、会議を通じて意見を述べることの他に、一人一人が独立した立場で職務や活動を行うことができます。



その2 社会教育委員の会議としての職務① 教育委員会への答申・意見を述べること

教育委員会で扱われる社会教育事案のうち、協議が必要であると判断するものについては、社会教育委員の会議に対して教育委員会が諮問を行います。

それに対して、社会教育委員の会議が開かれ、委員の意見を集約する形でまとめ、「答申」という形で意見を述べます。



その3 社会教育委員の会議としての職務② 必要に応じて研究調査や視察を行うこと

1ページの職務を行うために必要な研究調査や視察等を行うことができます。

研究調査によって得られたデータをもとに課題を洗い出し、その解決方法を探り、意見としてまとめていくことで、より実態を踏まえた提案につながります。

〔研究調査の例〕

- ・さまざまな機関・団体が行う社会教育事業の視察
- ・先進的な取組を行っている社会教育施設等の視察
- ・社会教育に関する地域住民の意識調査 など



その4 青少年教育に関する助言や指導を行うこと

市町村教育委員会から委嘱を受けた青少年の体験活動における指導、青少年への指導法の研修などを行うことが可能です。

社会教育委員が、自然体験活動、地域活動、ボランティア活動等における指導者やボランティアをコーディネートしたり、行政と地域住民をつないだりすることで、青少年の体験活動を充実させることができます。



【社会教育法】第17条 （社会教育委員の職務）

- 1 社会教育委員は、社会教育に関し教育委員会に助言するため、次の職務を行う。
 - 1) 社会教育に関する諸計画を立案すること。
 - 2) 定時又は臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じ、これに対して意見を述べること。
 - 3) 前2号の職務を行うために必要な研究調査を行うこと。
- 2 社会教育委員は、教育委員会の会議に出席して社会教育に関し意見を述べることができる。
- 3 市町村の社会教育委員は、当該市町村の教育委員会から委嘱を受けた青少年教育に関する特定の事項について、社会教育関係団体、社会教育指導者その他関係者に対し、助言と指導を与えることができる。

【参考資料・参考文献】

- ・「改訂版 社会教育委員のためのQ&A ―関係法規から読み解く―」
（一般社団法人全国社会教育委員連合）
- ・社会教育委員の手引き〔基礎編〕
（平成30年3月 鳥取県社会教育委員連絡協議会 鳥取県教育委員会）

2. 参考になる文献・リンク

- ・「改訂版 社会教育委員のためのQ&A ―関係法規から読み解く―」
（一般社団法人全国社会教育委員連合）
- ・一般社団法人全国社会教育委員連合ホームページ
（研修案内・調査研究などの情報が掲載されています。）
<http://www.shakyoren.or.jp/index.html>
- ・「子どもたちの夢を育む生涯学習の推進方策について（答申）」
（令和4年6月 岡山県生涯学習審議会及び岡山県社会教育委員の会議）
<https://www.pref.okayama.jp/site/16/detail-58073.html>

3. 第45回中国・四国地区社会教育研究大会島根大会報告

令和5年11月16日（木）～17日（金）に第45回中国・四国地区社会教育研究大会島根大会が開催されました。本大会では「縁結びの地 島根で 学ぼう、つながろう、始めよう！～地域の人づくり・つながりづくりを進めるために～」を研究主題として、中国・四国地区のさまざまな実践についての発表や交流が行われました。

第2分科会「福祉×社会教育」では、助言者として岡山県より、美作大学 社会福祉学科の小坂田 稔教授に御参加いただきました。

本分科会の事例発表では、広島県より「北広島町まちづくりセンター」の地域の居場所づくりの取組、島根県より「3C『夢』club」の特別支援学級の児童生徒を対象とした体験活動の取組の発表がありました。

小坂田教授は、それぞれの事例の特色を解説しながら、さらに取組を活性化させていくためのアイデアを提案してくださいました。共生社会の実現に向けて、支援の受け手が支え手になれるような取組が大切になっていること、社会福祉法でも地域住民が主人公になっており、福祉においても住民自治が始まっていることなど、御自身の実践を交えながらお話をしてくださいました。



お知らせ

第46回中国・四国地区社会教育研究大会徳島大会

期 日 令和6年11月28日（木）～29日（金）

会 場 あわぎんホール（徳島市）



大会スローガン 「阿波から巡り 共に歩もう！」 学び 支え つながる社会教育

4. 各市町村社会教育委員の活動報告

岡山市社会教育委員の会議

【基本情報】

委員数	学校教育関係者	社会教育関係者	家庭教育関係者	学識経験者	その他	合計	年間会議回数	
	3名	5名	4名	6名		18名	任期	4回 2年

【社会教育委員として行った活動】（あてはまる項目で重点的な活動に◎、その他行った活動に○を記入）

	社会教育に関する諸計画の立案		教育委員会への答申
	調査研究・視察		青少年教育に関する助言・指導
◎	その他（生涯学習推進に関する助言）		

◇活動のテーマ・重点

- ①地域の教育力の向上（～令和5年9月30日）
- ②家庭の教育力向上に向けた取組の進め方（令和5年10月1日～）

1 上記のテーマ設定の理由（市町村の社会教育の現状・課題等）

- ①子どもたちを支えるしくみとして地域の力が必要であることから、平成27年10月任期から「地域の教育力の向上」をテーマに取り組み、令和3年10月からの2年の任期で地域と学校の連携・協働を推進する体制整備の実践的な検討を行った。
- ②令和5年4月にこども基本法施行やこども家庭庁の設置や、子どもや保護者を取り巻く環境の変化を踏まえ、また令和5年度～7年度岡山市教育委員会重点取組「やる気につながる好奇心の醸成」の推進にあたり、岡山市で実施している家庭教育支援に関する取組を、より保護者等のニーズに沿った効果的なものとしていくため。

2 活動のテーマ・重点に向けた社会教育委員の活動

- ① 1 社会教育委員会会議（書面決議）（令和5年6月19日）
 - （1）地域と学校の連携・協働活動を推進するために参考となるリーフレットの内容の最終審議
- 2 社会教育委員会会議を実施（令和5年8月21日）
 - （1）これまでの取組のまとめとリーフレットの活用について説明し、委員から意見聴取
 - （2）令和5年度～7年度教育委員会の重点的な取組「やる気につながる好奇心の醸成」について各取組の紹介等を行い、委員から意見聴取
- ② 3 社会教育委員会会議を実施（令和5年12月18日）※新任期（R5.10～R7.9）の第1回会議
 - （1）今後の審議テーマを検討し、家庭の教育力向上に向けた事業の改善について審議する事を決定
- 4 社会教育委員会会議を実施予定（令和5年3月15日）
 - （1）令和6年度生涯学習関連事業及び社会教育関係団体への補助金交付について説明
 - （2）令和6年度岡山市立公民館運営・事業方針（案）について説明
 - （3）家庭の教育力向上に向けた事業改善案について説明

3 成果と課題・来年度の方向性

〈成果と課題〉

- ①リーフレットを作成し、学校園や公民館等へ配布し、地域学校協働本部立ち上げの説明資料等に活用。地域学校協働本部のない中学校区について本部の設置を目指す。

〈来年度の方向性〉

- ②現在、生涯学習課で実施している家庭教育支援事業の具体的な改善について検討していく。

倉敷市社会教育委員の会議

【基本情報】

委員数	学校教育関係者	社会教育関係者	家庭教育関係者	学識経験者	その他	合 計	年間会議回数	
	3 名	7 名	2 名	3 名		15 名	任 期	2 年

【社会教育委員として行った活動】（あてはまる項目で重点的な活動に◎、その他行った活動に○を記入）

	社会教育に関する諸計画の立案		教育委員会への答申
○	調査研究・視察	◎	青少年教育に関する助言・指導
	その他（ ）		

◇活動のテーマ・重点

倉敷市の社会教育関連事業について、理解を深める。

1 上記のテーマ設定の理由（市町村の社会教育の現状・課題等）

社会教育関連事業に関し、様々な立場からの忌憚のない意見・助言を得ることで、事業運営・改善に活かすため。

2 活動のテーマ・重点に向けた社会教育委員の活動

（1）第1回倉敷市社会教育委員会会議の開催

「倉敷市教育振興基本計画」に基づく、社会教育関連の「主要事業」について、令和4年度の事業報告及び令和5年度の事業計画に対し、意見を述べた。また、令和5年度社会教育団体への補助金交付について審査を行った。

会議開催後、倉敷市立自然史博物館を視察した。

（2）第2回倉敷市社会教育委員会会議の開催

「倉敷市教育振興基本計画」に基づく、社会教育関連の「主要事業」について、令和5年度の実施状況に対し、意見を述べた。

会議開催後、科学センターを視察した。

3 成果と課題・来年度の方向性

引き続き、会議の開催を通じて、市の社会教育施策に対しての意見交換や提言を行う。
また、今後も、事業や施設の現場視察を取り入れながら意見交換の場としていきたい。

津山市社会教育委員の会議

【基本情報】

委員数	学校教育関係者	社会教育関係者	家庭教育関係者	学識経験者	その他	合計	年間会議回数	
	1名	6名	1名	2名		10名	任期	2年

【社会教育委員として行った活動】（あてはまる項目で重点的な活動に◎、その他行った活動に○を記入）

○	社会教育に関する諸計画の立案		教育委員会への答申
◎	調査研究・視察		青少年教育に関する助言・指導
	その他（		）

◇活動のテーマ・重点

- ①「対話から始めるまちづくり」
- ②「社会教育施設のさらなる充実」

Ⅰ 上記のテーマ設定の理由（市町村の社会教育の現状・課題等）

- ①社会教育関係課が市長部局と教育委員会に分かれているため、連携を強化する必要がある。
- ②公民館 23 館、図書館 4 館を有し、スポーツ施設・文化施設を含めた社会教育施設が充実している。
新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行したため、利用状況の回復に向けた取組を行う必要がある。

2 活動のテーマ・重点に向けた社会教育委員の活動

①教育委員と社会教育委員の懇談会

「津山市のコミュニティ・スクールについて～公民館の立場から～」と題し、公民館と学校の連携・協働やその取組について研修会を行った後、教育委員との懇談会に臨んだ。

既にコミュニティ・スクールが導入されている学校の事例などを踏まえながら、日頃教育活動に関わる中で感じていることなど、活発に意見交換を行うことができた。

②真庭市立中央図書館の視察

社会教育施設の魅力化を図るべく、真庭市立中央図書館の視察を行った。
図書館のあり方について再考する機会となった。



教育委員との懇談会

3 成果と課題・来年度の方向性

〈成果と課題〉

- ①教育委員と社会教育委員双方の立場から、コミュニティ・スクールについての思いを共有することができた。テーマが 2 年連続となるため、来年度は異なるテーマでの実施を検討する必要がある。
- ②人が集うしかけづくりや地域との関わり方など、既存の枠にとらわれない取組について見識を深めることができた。

〈来年度の方向性〉

- ①教育委員との懇談会を引き続き実施する。テーマについては、社会教育委員の会議で検討する。また、意見交換の機会を充実させ、社会教育委員相互の交流をより活性化させる。
- ②社会教育事業の推進に役立てるため、社会教育施設の視察研修を継続して実施する。

玉野市社会教育委員の会議

【基本情報】

委員数	学校教育関係者	社会教育関係者	家庭教育関係者	学識経験者	その他	合 計	年間会議回数	
	2 名	4 名		1 名	2 名	9 名	任 期	2 年

【社会教育委員として行った活動】（あてはまる項目で重点的な活動に◎、その他行った活動に○を記入）

	社会教育に関する諸計画の立案		教育委員会への答申
◎	調査研究・視察		青少年教育に関する助言・指導
	その他（ ）		

◇活動のテーマ・重点

玉野市の社会教育関連事業について、理解を深める。

1 上記のテーマ設定の理由（市町村の社会教育の現状・課題等）

社会教育の諸計画の立案に向けて、まずは本市の社会教育関連事業全体の実態を把握し、現状について委員で共通理解を図る。

2 活動のテーマ・重点に向けた社会教育委員の活動

〔全体としての活動〕

①会議の開催、社会教育委員同士の交流

- ア 玉野市社会教育委員会会議【令和5年7月21日（金）開催】
- イ 玉野市トップアーティスト・アスリート招へい補助事業審査会【令和5年7月21日（金）】
- ウ たまのっ子育成支援委員会（おかやま子ども応援事業）の開催【令和6年2月14日（水）】

②地域学校協働活動等の見学

- ア 放課後子ども教室（子ども楽級）見学【令和5年7月・令和5年12月】
- イ 放課後子ども教室（おさらい会）見学【令和5年12月～令和6年1月】

〔個人としての活動〕

- ① 芸術文化体験会等への参加【随時】
- ② PTA活動への参画【随時】
- ③ スポーツ振興に関わる活動【随時】
- ④ 文化振興に関わる活動【随時】

3 成果と課題・来年度の方向性

〈成果と課題〉

社会教育委員会会議を通して、社会教育委員の役割について共通理解を図ることができた。また、上記の①ーイ、ウ、②ーア、イでは、事業の実際に触れることができた。しかし、これまでも社会教育委員が諸計画の立案について検討してきたが、実現には至らなかった。

〈来年度の方向性〉

今後も随時、社会教育委員同士が交流する機会を意図的に設けていきたい。そして、社会教育の諸計画の立案や会議で交流した内容が、全体・個人双方で、実際の活動につながるようにする。

笠岡市社会教育委員の会議

【基本情報】

委員数	学校教育関係者	社会教育関係者	家庭教育関係者	学識経験者	その他	合 計	年間会議回数	
	2名	3名	1名	1名	3名	10名	任 期	2年

【社会教育委員として行った活動】（あてはまる項目で重点的な活動に◎、その他行った活動に○を記入）

○	社会教育に関する諸計画の立案		教育委員会への答申
	調査研究・視察	○	青少年教育に関する助言・指導
	その他（ ）		

◇活動のテーマ・重点

社会教育・生涯学習事業等の企画・立案・助言
地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的な推進

1 上記のテーマ設定の理由（市町村の社会教育の現状・課題等）

当市では今年度から小中一貫教育が本格実施となったものの、地域学校協働本部とコミュニティ・スクールの枠組みが異なるなど、一体的な推進が不十分であるため。

2 活動のテーマ・重点に向けた社会教育委員の活動

【会 議】 7月 第1回笠岡市社会教育委員会
3月（予定）第2回笠岡市社会教育委員会

当市の社会教育・生涯学習事業の年間計画、実績報告等を社会教育委員会に諮ることで、各事業の改善・見直しや各種団体の連携強化等に取り組んでいる。各委員は、成人式や生涯学習フェスティバルなどの各事業の実行委員として参画している案件が多いことから、事業の企画運営にも携わっている。

3 成果と課題・来年度の方針

〈成果と課題〉

社会教育委員が実行委員として参画する事業をはじめ、当市の社会教育・生涯学習事業全般に各分野を代表する社会教育委員の意見を反映させることができた。また、社会教育委員が所属する団体の独自事業とも同じ方向性を持つことができた。

地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的な推進については、十分な取組ができなかった。

〈来年度の方針〉

社会教育施設での企画展や地域学校協働活動の視察などのフィールドワークを行い、より意見やアイデアが出やすい環境を整えたい。

井原市社会教育委員の会議

【基本情報】

委員数	学校教育関係者	社会教育関係者	家庭教育関係者	学識経験者	その他	合 計	年間会議回数	
	2名	5名	1名	6名		14名	任 期	3回 2年

【社会教育委員として行った活動】（あてはまる項目で重点的な活動に◎、その他行った活動に○を記入）

	社会教育に関する諸計画の立案		教育委員会への答申
◎	調査研究・視察	○	青少年教育に関する助言・指導
	その他（ ）		

◇活動のテーマ・重点

生涯学習の現状と今後の振興について
家庭教育の振興

1 上記のテーマ設定の理由（市町村の社会教育の現状・課題等）

生涯学習への理解を深め、参加する人を増やすための助言を行うため。
少子化に伴い家庭教育の重要性を認識し、今後の活動への参考となる意見をまとめるため。

2 活動のテーマ・重点に向けた社会教育委員の活動

- ・本年度、「生涯学習の集い」というイベント内容を展示・発表型から体験型へ変更して行った。このイベントの視察を行い参加者の状況やイベントの方向性の調査を行った。
- ・本市における少子化の状況を数値化して報告し、保育園、幼稚園等の状況や待機児童の数などを報告した。その上で、幼児を育てる親のつながりは希薄で孤立している現状を問題とし、生涯学習センター（アクティブライフ井原）にキッズルームを設け、幼児を遊ばせながら保護者と関わりを持つ目的で稼働した。

3 成果と課題・来年度の方向性

〈成果と課題〉

- ・生涯学習の体験型イベントは概ね良い結果となった。今後、視察後の意見も継続していく方向となった。
- ・キッズルームの使用数も増加してきたため、今後は保護者のつながりを目標に進めていく。

〈来年度の方向性〉

- ・生涯学習イベントの継続視察を行い、状況の把握に努める。
- ・家庭教育における保護者の状況を把握し、孤立した子育てをさせないための方法を考えていく。

総社市社会教育委員の会議

【基本情報】

委員数	学校教育関係者	社会教育関係者	家庭教育関係者	学識経験者	その他	合 計	年間会議回数	
	1 名	3 名	1 名	4 名		9 名	任 期	2 年

【社会教育委員として行った活動】（あてはまる項目で重点的な活動に◎、その他行った活動に○を記入）

◎	社会教育に関する諸計画の立案		教育委員会への答申
○	調査研究・視察	○	青少年教育に関する助言・指導
	その他（ ）		

◇活動のテーマ・重点

生涯学習のまちづくりの推進
～社会教育関係事業の参加と社会教育関係施設の理解～

1 上記のテーマ設定の理由（市町村の社会教育の現状・課題等）

社会教育委員として各事業の計画や実績について、会議を通して説明を聞いて知ることからさらに、参加している様々な世代の市民がどういう思いを持っているのか、公民館等の社会教育施設の事業についてより深く知る機会を持つことが社会教育のまちづくりの推進の一役を果たすものとするため。

2 活動のテーマ・重点に向けた社会教育委員の活動

○社会教育委員の会での協議

- ・協議内容として、現在取り組んでいる事業や、直面している課題を取り上げる（第1回：部活動の地域移行について、コミュニティ・スクールの設置について 第2回：社会教育団体数の推移について、地域学校協働活動の推進について）。

○社会教育関係事業への積極的参加

- ・生涯学習・社会教育関係事業のイベントを事業担当者より委員に紹介するとともに、実際にイベント当日に会場へ委員が出向き、参観及び役員として参加する（そうじゃわくわくフェスティバル、吉備の里ふれあいウォークラリー、総社市二十歳の集い）。

3 成果と課題・来年度の方向性

〈成果と課題〉

- ・社会教育関係事業の現状を実際に見ることを通して、社会教育の担う面を感じ取ることができた。一方、多様化社会の中、今後の社会教育関係事業の在り方について意識を持つことができた。
- ・公民館等の社会教育関係施設の現状を知り、地域の学びの場としてどういう活用ができるか考える機会となった

〈来年度の方向性〉

- ・今年度、取り組んだことを基にこれから社会教育の果たすべき役割を再度捉え直し、社会教育関係事業がこれからも持続可能な姿をどのように描いていくかを協議していく。

高梁市社会教育委員の会議

【基本情報】

委員数	学校教育関係者	社会教育関係者	家庭教育関係者	学識経験者	その他	合計	年間会議回数	
	2名	3名		4名		9名	任期	2年

【社会教育委員として行った活動】（あてはまる項目で重点的な活動に◎、その他行った活動に○を記入）

	社会教育に関する諸計画の立案		教育委員会への答申
◎	調査研究・視察		青少年教育に関する助言・指導
	その他（		）

◇活動のテーマ・重点

令和5～6年度協議テーマ「魅力ある学びの場を通し、人と人がつながるコミュニティの創造」

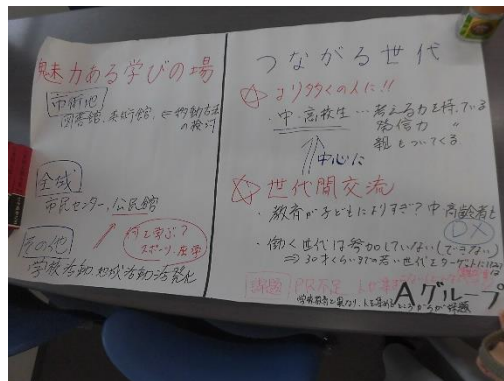
1 上記のテーマ設定の理由（市町村の社会教育の現状・課題等）

高梁市では、人口減少・少子高齢化に歯止めがかからない中、新型コロナウイルス感染症のまん延など、本市をとりまく問題は拡大し、社会教育活動の縮小や人と人とのつながりの希薄化に拍車をかけている。こうした現状の中、人と人がつながるコミュニティの創出を目指し、在日外国人との交流、伝統行事の継承、若者と高齢者の居場所などの魅力ある学びの場づくりに取り組んでいくことを社会教育委員会としての課題として捉え、上記テーマを設定し、活動していくこととした。

2 活動のテーマ・重点に向けた社会教育委員の活動

○6/28 第1回社会教育委員会会議

- ・令和4年度社会教育事業報告及び令和5年度社会教育主要事業について意見を述べた。
- ・令和5～6年度協議テーマから、「学びの場の中心」および「コミュニティを生み出す世代」をどこに絞ってアプローチするかワークショップ形式で協議を行い、「公民館による若者を中心とした世代間交流の充実」という副題を作成した。



○2/19 第2回社会教育委員会会議

- ・第1回社会教育委員会会議で作成した副題に沿った実践事例の発表を研究し、公民館や教育委員会が取り組むべき事項について意見を共有する。

【実践発表：御南西公民館（岡山市）、有漢公民館（高梁市）】

3 成果と課題・来年度の方向性

〈成果と課題〉

- ・ワークショップ形式で高梁市の課題について熟議することで、委員の当事者意識が向上した。



令和4年度の社会教育委員会議の様子

- ・委員で市の課題を把握し、来年度の提言に向けてプロセスを踏むことができた。
- ・課題としては、予算化や市内公民館等に十分周知し、具体的な活動に結び付けることが挙げられる。

〈来年度の方向性〉

- ・今年度の協議内容をまとめた意見要旨の作成。
- ・実践事例の発表研究を踏まえて提言を作成し教育委員会へ提言する。

新見市社会教育委員の会議

【基本情報】

委員数	学校教育関係者	社会教育関係者	家庭教育関係者	学識経験者	その他	合計	年間会議回数	
	4名					4名	任期	2年

【社会教育委員として行った活動】（あてはまる項目で重点的な活動に◎、その他行った活動に○を記入）

	社会教育に関する諸計画の立案		教育委員会への答申
◎	調査研究・視察		青少年教育に関する助言・指導
○	その他（公民館主催事業実行委員会への参加、二十歳へのメッセージ作成）		

◇活動のテーマ・重点

社会教育委員の活躍の場の創出

1 上記のテーマ設定の理由（市町村の社会教育の現状・課題等）

新見市の社会教育委員の人数は他市町村と比較して少ない。（定員5人）
まずは社会教育委員の存在をアピールし、将来的な委員の増員を目標に活動を進めていく。

2 活動のテーマ・重点に向けた社会教育委員の活動

- （1）社会教育委員会の開催 年4回開催、市生涯学習事業の説明、社会教育委員の活動について他
- （2）各研修会への参加 5/26 岡山、9/29 津山、11/16～17 島根の研修会へ参加
- （3）視察 真庭市立中央図書館を視察し、図書館を中心としたまちづくりについての説明を受けた。



←真庭市立中央図書館視察

二十歳の集いメッセージ→



- （4）二十歳へのメッセージ
鏡野町の活動を参考に、「二十歳の集い」の際に、社会教育委員からのメッセージを配付した。
- （5）公民館主催事業実行委員会への参加
公民館への働きかけにより、委員として各地区の公民館事業へ参加する。

3 成果と課題・来年度の方角性

〈成果と課題〉

今年度は行動制限の緩和もあり、市外視察、二十歳の集いメッセージ、公民館事業への参加等、例年になく取組を行うことができた。公民館事業への参加について、委員4人が各地区の公民館事業へ参加することとなったが、未だ18公民館中4館に留まり、市域が広く今の人員では限界がある。

〈来年度の方角性〉

積極的な活動により社会教育委員の存在をアピールし、委員増員に向けて働きかける。増員することで、より各地域での委員活動の充実を図ることを目的とする。

備前市社会教育委員の会議

【基本情報】

委員数	学校教育関係者	社会教育関係者	家庭教育関係者	学識経験者	その他	合 計	年間会議回数	
	1 名	4 名	1 名	2 名	1 名	9 名	任 期	2 年

【社会教育委員として行った活動】（あてはまる項目で重点的な活動に◎、その他行った活動に○を記入）

	社会教育に関する諸計画の立案		教育委員会への答申
○	調査研究・視察		青少年教育に関する助言・指導
	その他（ ）		

◇活動のテーマ・重点

備前市内の社会教育活動を体感しよう

1 上記のテーマ設定の理由（市町村の社会教育の現状・課題等）

市内の社会教育事業を把握し、よりよい活動・事業としていくための助言等を行うため。

2 活動のテーマ・重点に向けた社会教育委員の活動

- ・ 青少年健全育成大会（11 月）
- ・ 子育て懇談会（8 月）
- ・ 人権セミナー（6 月～12 月・毎月 1 回）
- ・ 備前市中学生だっぴ・（8 月、9 月、11 月、12 月の計 4 回）
- ・ 備前まなび塾＋土曜日・長期休業講座（6 月～2 月・年間 25 回程度）
- ・ 地域学校協働活動（4 月～3 月・9 本部 11 学校）
- ・ 家庭教育情報紙「ときめきナビ」編集会議（4 月～3 月・年間 8 回）
- ・ 読書推進会議

3 成果と課題・来年度の方角性

〈成果と課題〉

各々の専門性を活かし、事業への参加・視察を行うことで、事業内容や目的、参加者の様子を感じ取ることができた。

また、高校生主催のイベントでは、委員の活動場所の提供も含め、準備段階からともに活動を進めたことで、中高生の思いを知るとともに、活躍を間近に見ることができた。

〈来年度の方角性〉

各事業の視察を通して感じ取られた点を、それぞれの事業へフィードバックを行い、より効果的な事業へ改善していく。

瀬戸内市社会教育委員の会議

【基本情報】

委員数	学校教育関係者	社会教育関係者	家庭教育関係者	学識経験者	その他	合 計	年間会議回数	
	2名	6名		1名		9名	任 期	2年

【社会教育委員として行った活動】（あてはまる項目で重点的な活動に◎、その他行った活動に○を記入）

	社会教育に関する諸計画の立案	◎	教育委員会への答申
○	調査研究・視察	○	青少年教育に関する助言・指導
	その他（		）

◇活動のテーマ・重点

社会教育委員の役割
社会教育施策への提言

Ⅰ 上記のテーマ設定の理由（市町村の社会教育の現状・課題等）

多くの事業が規模縮小や中止に追い込まれた新型コロナウイルス感染症の流行が収束し、社会教育関係施策も再開し始めた。一方で、「家庭教育支援」や「生涯学習施設の今後の在り方」等、あらたな課題も出てきているため、社会教育委員の担う役割がより一層重要になっていると考えられるため。

2 活動のテーマ・重点に向けた社会教育委員の活動

○瀬戸内市社会教育委員会（令和5年10月12日（木） 瀬戸内市立美術館）

① 社会教育関係団体への補助金交付

補助金を交付している社会教育関係団体について、活動内容等を説明し、今後も継続交付との答申を行った。

② 家庭教育支援チーム検討委員会の設置について

令和6年度の家庭教育支援チーム設置を目指して、今年度は家庭教育支援チーム検討委員会を設置して準備を進めていく旨と家庭教育支援を行っていくことの背景・意義の説明があり、チームの設置を期待する旨の答申を行った。

③ 地域コミュニティセンターの在り方について

地域の生涯学習の拠点として整備された地域コミュニティセンターだが、老朽化や利用実績の伸び悩み等の課題が発生している。今後は地域住民だけでなく、市全体の生涯学習施設として有効活用していくよう答申を行った。

④ その他の教育委員会からの報告事項

「学校部活動の地域移行」と「女子野球タウン」に関する現状の報告があった。

⑤ 社会教育施設の視察研修

瀬戸内市立美術館を学芸員の案内のもと見学した。

※教育委員会が準備していた資料をもとに、改めて社会教育委員が果たすべき役割についての説明を受けて、果たすべき役割について再認識する機会となった。

3 成果と課題・来年度の方向性

〈成果と課題〉

「家庭教育支援チーム」、「地域コミュニティセンターの今後の在り方」等、教育委員会が取り組んでいる施策について、助言・答申を行うことができた。

人と人とのつながりが基本となる社会教育関係施策は、新型コロナウイルス感染症の流行で、長期間の規模縮小を余儀なくされ、停滞を招いてしまったと思われる。今後は、その停滞分を取り戻すための施策と、「家庭教育」や「部活動の地域移行」等の課題を解決していくために、必要な研究・助言を行っていききたい。

また、開催回数についても、2回以上の開催を希望している。

〈来年度の方向性〉

上記のように、市教育委員会が取り組んでいる施策について、引き続き社会教育委員の立場から助言・答申を行っていききたい。

赤磐市社会教育委員の会議

【基本情報】

委員数	学校教育関係者	社会教育関係者	家庭教育関係者	学識経験者	その他	合 計	年間会議回数	
			2 名	8 名		10 名	任 期	2 年

【社会教育委員として行った活動】（あてはまる項目で重点的な活動に◎、その他行った活動に○を記入）

	社会教育に関する諸計画の立案		教育委員会への答申
	調査研究・視察		青少年教育に関する助言・指導
◎	その他（各種研修への参加、今後について検討）		

◇活動のテーマ・重点

- ・社会教育委員とは
- ・今後の活動に向けて

1 上記のテーマ設定の理由（市町村の社会教育の現状・課題等）

社会教育委員の役割・心得について共通理解をした上で、これからどのような活動ができるのか検討するため。

2 活動のテーマ・重点に向けた社会教育委員の活動

○社会教育委員の会議（8月、1月）

内容：各委員の活動や研修等で学んだことについての報告、意見交換、活動に向けての検討 等

○各種研修会への参加

- ・岡山県社会教育委員連絡協議会 第1、2回研修会（7月、9月）

内容：講演「みんなでつながり支える家庭教育」（第1回）

「これからの社会と社会教育委員の役割」（第2回）

- ・備前地区社会教育委員連絡協議会第1回研修会（5月）

内容：ワークショップ「地域のためにできること～地域学校協働活動のススメ～」

ミニ講義、グループ協議、指導・講評

- ・中国・四国地区社会教育研究大会（島根大会）（11月）：分科会参加

3 成果と課題・来年度の方向性

〈成果と課題〉

社会教育委員の役割・心得について共通理解を図り、これからの活動について話し合った。

また、研修会にも積極的に参加し、その地域の現状や活動について学んだ。

〈来年度の方向性〉

各委員が担当地域の課題や現状を確認し、どのようなことができるのか検討していく。

引き続き各種研修会に参加し、情報を収集していく。

真庭市社会教育委員の会議

【基本情報】

委員数	学校教育関係者	社会教育関係者	家庭教育関係者	学識経験者	その他	合計	年間会議回数	任期
	2名	1名	2名	6名		11名	3回	4年

【社会教育委員として行った活動】（あてはまる項目で重点的な活動に◎、その他行った活動に○を記入）

	社会教育に関する諸計画の立案		教育委員会への答申
○	調査研究・視察		青少年教育に関する助言・指導
○	その他（他の委員会と一緒に「みんなの尼崎大学」についての研修）		

◇活動のテーマ・重点

未就学児の子育て拠点施設である『つどいの広場』を支援する

Ⅰ 上記のテーマ設定の理由（市町村の社会教育の現状・課題等）

令和5年4月に「こども家庭庁」が発足し、「こどもまんなか」及び「こどもまんなか社会」のかけ声のもと、政策が進められている。

真庭市は、こども・子育て関連施策を最優先で取り組む施策と位置づけ、こども・子育て関連施策を「こどもはぐくみ応援プロジェクト」として取り組んでいる。社会教育委員会として、子どもの健全やかな成長を保障する環境をどのように整えるか、親や家庭をどのように支援するのかは、喫緊の課題と考え、地域の子育て拠点施設として重要な役割を担っている「つどいの広場」について調査研究することとした。

2 活動のテーマ・重点に向けた社会教育委員の活動

●市内つどいの広場視察

実施日：令和5年12月20日及び令和6年1月26日

参加委員：3名＋事務局

視察先：北房つどいの広場ほくぼうはたるっこ

NP0 法人子育て支援の会サポートあい

久世活き生きサロン

勝山つどいの広場やまっこ

湯原つどいの広場

中和つどいの広場あじさい



真庭市内には6つの「つどいの広場」があり、12月20日に5つの広場、1月26日に勝山つどいの広場やまっこの視察を行った。

真庭の広場は市の直営が5つ、1つはNPO法人が運営しており、利用料は基本的に無料（NPO法人以外の広場は、有料）。開館日は、週3日か週5日と広場によって違う。

一部のつどいの広場は、誰でも無料ということもあり、市外からも参加があるとのこと。結婚を機に市外から転居し、他の人とのつながりをつくることを目的に利用されている方も多い。

新規で来られる人は、SNSを見て来る人が多いため、若い人をターゲットにしたイベントなどの周知も積極的にSNSを活用していくべきと感じた。



ある広場では、外国人の親子が利用しているケースもある。母親は日本語での会話は難しいため、日本語サークルで勉強中とのことだった。真庭市でも外国人は増加しており、日本語を話せない人に対して、社会教育の視点でどのような支援ができるのか考えることも必要があると思われる。

保護者にとって、「つどいの広場」は、親と子どもの居場所として、重要な役割を担っていると感じた。

3 成果と課題・来年度の方向性

〈成果と課題〉

つどいの広場の取組や現状、課題など学ぶことができたが、所管が健康福祉部局となるため、社会教育の視点からどのような連携や支援ができるのかを考える必要がある。

社会教育委員は働いている方が多く、日中の活動の参加者が少ないため、参加しやすくなることを検討する必要がある。

〈来年度の方向性〉

子どもに関わる取組を学ぶことは2か年の計画として、就学までの子育て環境と課題をつかみ、施設等の在り方について調査研究する予定。最終的には、教育長に意見を申し上げるとともに、保健福祉部局や社会福祉協議会に参考意見の提供を行う予定。

美作市社会教育委員の会議

【基本情報】

委員数	学校教育関係者	社会教育関係者	家庭教育関係者	学識経験者	その他	合 計	年間会議回数	
	3名	3名	2名	5名	2名	15名	任 期	2年

【社会教育委員として行った活動】（あてはまる項目で重点的な活動に◎、その他行った活動に○を記入）

	社会教育に関する諸計画の立案		教育委員会への答申
○	調査研究・視察	○	青少年教育に関する助言・指導
	その他（		）

◇活動のテーマ・重点

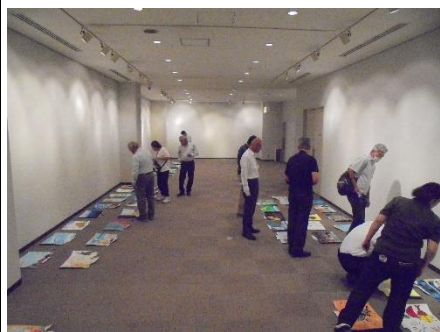
地域の特徴を生かした学びの支援

1 上記のテーマ設定の理由（市町村の社会教育の現状・課題等）

テーマに向けた活動が子ども絵画展の審査に留まっており、生涯学習講座や公民館活動、その他の社会教育事業への関与ができていない。

2 活動のテーマ・重点に向けた社会教育委員の活動

美作市では毎年、「バレンタイン子ども絵画展」として、市内小中学生から応募のあった絵画の入賞作品の巡回展示を行っている。応募作品 131 点の審査を社会教育委員で行い、子どもたちの伸びやかな表現を応援した。入賞作品は表彰して称えとともに、市内の美術館や公民館での巡回展示を行った。



（審査の様子）



（展示作業）



（展示の様子）

3 成果と課題・来年度の方向性

〈成果と課題〉

絵画展を通じて表現の楽しさを子どもに学んでもらえたと捉えている。公民館講座での夏休み子ども絵画教室も人気講座となっており、絵画展との相乗効果を得られている。

社会教育事業全体への働きかけができていない。

〈来年度の方向性〉

引き続き「バレンタイン子ども絵画展」を実施して、子どもたちの表現の機会を応援していきたい。また早期に社会教育委員会会議を実施し、社会教育課との連携を密にしたい。

浅口市社会教育委員の会議

【基本情報】

委員数	学校教育関係者	社会教育関係者	家庭教育関係者	学識経験者	その他	合計	年間会議回数	任期
	2名	6名	4名	3名		15名		2年

【社会教育委員として行った活動】（あてはまる項目で重点的な活動に◎、その他行った活動に○を記入）

	社会教育に関する諸計画の立案		教育委員会への答申
◎	調査研究・視察		青少年教育に関する助言・指導
	その他（		）

◇活動のテーマ・重点

地域学校協働活動における社会教育委員としての役割

1 上記のテーマ設定の理由（市町村の社会教育の現状・課題等）

地域課題が多様化する中、社会教育に求められる役割も多様化している。近年、地域と学校の協働による課題解決の取組が進んでおり、社会教育委員としての関わり方を模索することが求められている。

2 活動のテーマ・重点に向けた社会教育委員の活動

（1）第1回社会教育委員会議

令和5年7月21日に、浅口市ふれあい交流館「サンパレア」で、社会教育に関わる年間の事業計画についての意見交換を行った。会議後に寄島小学校（よりしま地域学校協働本部）の視察を行った。

（2）「夏GAKUサプリ」の視察

「夏GAKUサプリ」は夏休み期間中の7月25日～7月28日の4日間、3公民館で実施している学校と公民館、地域が協働で小学生の学習支援を行う事業である。参加した児童や指導補助ボランティアの中・高校生の活躍を視察し、今後の学校や公民館、地域への関わり方について考えるきっかけとなった。

（3）「冬GAKUミニサプリ」の視察

12月16日・27日に、小学生の学習支援を目的として初実施した「冬GAKUミニサプリ」を視察した。本事業の成果や課題について考えるきっかけとなった。

（4）第2回社会教育委員会議（予定）

令和6年3月22日に、本年度の事業実績や次年度の予定等を協議する会議を、金光公民館で予定している。会議の終了後は、金光公民館等の視察を行う予定である。

3 成果と課題・来年度の方向性

〈成果と課題〉

【成果】「夏GAKUサプリ」や「冬GAKUミニサプリ」を視察することにより、参加した児童・生徒や大人の活躍を肌で感じる事ができた。地域との関わり、異年齢との交流から、学校と公民館、地域への関わり方を考えるきっかけとなった。

【課題】各種事業に対する社会教育委員としての関わり方を模索していく必要がある。

〈来年度の方向性〉

公民館活動や学校支援事業、地域活動へ積極的に参加し、引き続き社会教育委員としての関わり方を模索していく。

和気町社会教育委員の会議

【基本情報】

委員数	学校教育関係者	社会教育関係者	家庭教育関係者	学識経験者	その他	合 計	年間会議回数	
	1 名	5 名	1 名	3 名	4 名	14 名	任 期	2 年

【社会教育委員として行った活動】（あてはまる項目で重点的な活動に◎、その他行った活動に○を記入）

◎	社会教育に関する諸計画の立案		教育委員会への答申
	調査研究・視察		青少年教育に関する助言・指導
○	その他（社会教育事業への助言）		

◇活動のテーマ・重点

社会教育施設、社会教育事業の新しい在り方を模索する。

1 上記のテーマ設定の理由（市町村の社会教育の現状・課題等）

少子高齢化に伴い、社会教育施設及び社会教育事業への需要が大きく変化している。世代間交流が生まれる施設運営や事業展開が求められる。また、コロナ禍を経て住民が集う施設、事業へのハードルは以前よりも高くなっており、工夫が必要であるため。

2 活動のテーマ・重点に向けた社会教育委員の活動

・社会教育委員会の開催

当町の社会教育事業について意見をいただくため、社会教育委員会を開催している。

3 成果と課題・来年度の方向性

〈成果と課題〉

様々な意見がいただける一方、予算編成に間に合わない時期に開催してしまったこともあり、翌年度に意見を反映させることができなかった。来年度は、開催時期を早めたい。

〈来年度の方向性〉

予算編成時に間に合うタイミングで社会教育委員会を開催する。

早島町社会教育委員の会議

【基本情報】

委員数	学校教育関係者	社会教育関係者	家庭教育関係者	学識経験者	その他	合計	年間会議回数	
	2名	4名	4名			10名	任期	2年

【社会教育委員として行った活動】（あてはまる項目で重点的な活動に◎、その他行った活動に○を記入）

	社会教育に関する諸計画の立案		教育委員会への答申
○	調査研究・視察		青少年教育に関する助言・指導
◎	その他（社会教育委員会の開催と町主要行事への助言）		

◇活動のテーマ・重点

委員改選にあたり、新メンバーを選出し、町主要行事や部活動地域移行等について協議研究する。

1 上記のテーマ設定の理由（市町村の社会教育の現状・課題等）

早島町の社会教育については、社会教育施設の管理運営・受付業務等が煩雑になっており、職員数も充分ではない体制でこれまでの業務を見直す必要性に迫られている。施設の一元化、部活動地域移行のほか、早島町2大事業である夏まつりと町民運動会の意義を鮮明にし、今後の方針について協議・研究し、事業の形式や他の委員会等に反映させていく。

2 活動のテーマ・重点に向けた社会教育委員の活動

- ・委員の改選にあたり新委員長1名、新副委員長2名を選出（いずれも初めての方を選出し、新たな体制で出発した）。
- ・令和5年度岡山県社会教育委員連絡協議会第1回研修会へ副委員長2名と事務局1名が参加。
- ・早島町社会教育委員会（6月と10月に開催）にて、町主要行事（備中はやしま夏まつり、早島町町民運動会）の在り方について協議・助言を行った。

3 成果と課題・来年度の方角性

〈成果と課題〉

- ・社会教育委員会での協議内容を「新しいイベントの在り方検討会」に反映させた。

〈来年度の方角性〉

- ・歴史ある事業について、その方角性と新しい形を引き続き協議し、今後の課題である施設の一元化や部活動地域移行についても研究・協議を行う。

里庄町社会教育委員の会議

【基本情報】

委員数	学校教育関係者	社会教育関係者	家庭教育関係者	学識経験者	その他	合 計	年間会議回数	
	3 名	4 名	1 名	1 名		9 名	任 期	2 年

【社会教育委員として行った活動】（あてはまる項目で重点的な活動に◎、その他行った活動に○を記入）

	社会教育に関する諸計画の立案		教育委員会への答申
	調査研究・視察	○	青少年教育に関する助言・指導
○	その他（生涯学習、スポーツ、文化振興等に関する助言・指導）		

◇活動のテーマ・重点

人権尊重の精神に根ざした、心豊かで自立した人づくり（「里庄町教育大綱」基本理念より）
・生涯学習の振興、芸術・文化の振興、スポーツ振興、交流活動の推進に関する研究・助言

1 上記のテーマ設定の理由（市町村の社会教育の現状・課題等）

少子高齢化、人口減少、災害対策などの課題に取り組み、的確に対応する自立した地域づくりを目指して、教育、文化、スポーツ活動等を通じ地域課題の解決及び地域の活性化を推進し、これからの社会を支え、発展させていく人材を育成するため。

2 活動のテーマ・重点に向けた社会教育委員の活動

- ・第1回社会教育委員会会議を実施
令和4年度の社会教育関連事業についての報告、令和5年度の実施予定事業についての説明に対し、委員が意見を述べた。
- ・第2回社会教育委員会会議を実施予定
※協議予定内容 令和5年度の社会教育関連事業の報告

3 成果と課題・来年度の方向性

〈成果と課題〉

新型コロナウイルス感染症の5類移行を契機に、停滞していた活動が徐々に復活しはじめた1年であったが、社会教育関連行事の開催についても、感染症対策を行いながら、コロナによる数年間の行事の空白や経験不足を補う作業は労力を要した。

〈来年度の方向性〉

会議の開催を通じ、町の社会教育施策に対しての意見交換や提言を行う。

矢掛町社会教育委員の会議

【基本情報】

委員数	学校教育関係者	社会教育関係者	家庭教育関係者	学識経験者	その他	合計	年間会議回数	任期
		3名	1名	3名		7名		2年

【社会教育委員として行った活動】（あてはまる項目で重点的な活動に◎、その他行った活動に○を記入）

○	社会教育に関する諸計画の立案		教育委員会への答申
◎	調査研究・視察	○	青少年教育に関する助言・指導
	その他（		）

◇活動のテーマ・重点

社会教育の活動現場・研修等への積極的な参加

令和5年度教育行政重点施策（生涯学習・文化財・健康スポーツ）の事業評価

1 上記のテーマ設定の理由（市町村の社会教育の現状・課題等）

多岐に渡る社会教育分野において、委員自身が受け身の態勢ではなく、自ら活動現場を訪れ、見聞きすることで活動の熱量や空気感を感じることができると考えている。そこで得た情報から課題を抽出し、事業評価につなげることで次年度に向けてブラッシュアップを図る。

2 活動のテーマ・重点に向けた社会教育委員の活動

①施設訪問（平成29年度から継続）

岡山県立矢掛高等学校（地域連携の取組について意見交換）

②矢掛町の社会教育活動・研修への参加（各個人の参加の場合あり）

- ・地域とともにある学校づくりの推進研修・中学生模擬議会の傍聴
- ・20歳のつどい・やかげ音楽祭・教育講演会・毎戸遺跡発掘説明会
- ・夏休み学習会・やかげ本陣文学賞・本陣マラソン
- ・第45回中国・四国地区社会教育研究大会島根大会 等



③令和5年度教育行政重点施策（生涯学習・文化財・健康スポーツ）の事業評価

④教育委員との懇談会の開催

〔個人の特色ある活動〕

社会教育委員は、個人的に様々な立場で活躍されている人（放課後児童クラブ支援員・地域ボランティア・人権擁護委員・日本語教室・民生児童委員・保護者・音楽教室講師・講座関係者）を選任しており、地域の状況に精通し、自らも社会教育活動を行っている。

3 成果と課題・来年度の方向性

〈成果と課題〉

委員自身が社会教育に携わっている方が多いことから意識が高く、研修や社会教育活動にも積極的に参加している。会議でも委員それぞれが発言し、和気あいあいと意見交換ができています。一方で社会教育を考える上では、幅広い年齢層の委員構成が必要。特に若年層の委員選出も効果的であると考えます。

〈来年度の方向性〉

改選期であるため、新たな委員とともに矢掛町の社会教育の充実について考えていきたい。今後は委員も一緒に企画・運営に参加できる取組を計画していく。

新庄村社会教育委員の会議

【基本情報】

委員数	学校教育関係者	社会教育関係者	家庭教育関係者	学識経験者	その他	合 計	年間会議回数	
	2名	2名			1名	5名	任 期	2年

【社会教育委員として行った活動】（あてはまる項目で重点的な活動に◎、その他行った活動に○を記入）

○	社会教育に関する諸計画の立案		教育委員会への答申
	調査研究・視察		青少年教育に関する助言・指導
○	その他（研修会、事業への参加）		

◇活動のテーマ・重点

- 運動・あそびを通じた非認知能力を伸ばす取組みの実施
- 子どもの居場所の整備・運営体制の構築

1 上記のテーマ設定の理由（市町村の社会教育の現状・課題等）

- ・幼児期における非認知能力育成が重要。
- ・学校や家庭以外の居場所が必要。

2 活動のテーマ・重点に向けた社会教育委員の活動

- ・5月に社会教育委員会を開催した。コロナ以前の状況に徐々に戻す方向とし、個別の行事について協議をした。
- ・非認知能力研修会等の取組内容や、子どもの居場所の整備・運営体制について協議をした。
- ・研修会等への参加、整備工事現地の視察。

3 成果と課題・来年度の方向性

〈成果と課題〉

- ・コロナ5類移行により、年間に予定していた講座や行事等の多くを実施することができた。
- ・人口減少や高齢化等により、活動の主となる人材が年々少なくなっている。

〈来年度の方向性〉

- ・既存事業の継続やニーズに沿った新規事業の立ち上げに向けた検討を行う。
- ・公民館の図書館化に向けた検討を行う。

鏡野町社会教育委員の会議

【基本情報】

委員数	学校教育関係者	社会教育関係者	家庭教育関係者	学識経験者	その他	合 計	年間会議回数	
	2 名	2 名	2 名	4 名	4 名	14 名	任 期	2 年

【社会教育委員として行った活動】（あてはまる項目で重点的な活動に◎、その他行った活動に○を記入）

○	社会教育に関する諸計画の立案		教育委員会への答申
	調査研究・視察		青少年教育に関する助言・指導
◎	その他（若者定住及び人と人とのつながりに向けた取り組み）		

◇活動のテーマ・重点

【テーマ：地域の特性を活かした生涯学習の推進】

【重点取組：①若者の鏡野地域への定住 ②身近な住環境を考える ③人と人とのつながりを深める】

1 上記のテーマ設定の理由（市町村の社会教育の現状・課題等）

創造豊かな教育・文化の里づくりを実現させるため、上記テーマを設定した。

創造豊かな教育や文化の里づくりには若者の力が必要不可欠であるため、「若者の定住」「住環境の整備」「人と人とのつながりづくり」に重点を置き取り組んできた。

2 活動のテーマ・重点に向けた社会教育委員の活動

- ・新成人者への応援メッセージの作成（若者の定住、人と人とのつながり）
20 歳を迎えた人たちへ、ふるさと鏡野の良さを伝え、また壁にぶつかった時、ふるさとの友や家族を思い出して頑張ってもらえるよう、社会教育委員として応援メッセージを贈った。
- ・若者の鏡野地域への定住促進（若者の定住）
若者の鏡野町への定住を目指し、鏡野町出身で地方創成を目指し活躍している大学生を講師に迎え、ディスカッション形式の研修を計画している（来年度に向けて）。
- ・地元で働く人たちへエールを送る
通勤の時間帯に合わせ、^{のぼり}幟を掲げ地元で働く人を応援した。

3 成果と課題・来年度の方向性

〈成果と課題〉

「新成人者への応援メッセージ」については、「温かいことばが嬉しい」などの感想をいただいております、また「働く人たちへの応援」は年々定着してきており、来年度も実施したい。

〈来年度の方向性〉

職場環境の充実に向け、「笑顔があふれ、人を大切にする社会と職場」を願い広報活動を実施したい。鏡野町への若者定住に向けては、20 代の若者に年代の近い鏡野町出身の大学生を迎え、社会教育委員が中心となり、地域づくり実践者・高校生・新社会人に呼びかけし、ワークショップやディスカッション形式で会を進めたい。

勝央町社会教育委員の会議

【基本情報】

委員数	学校教育関係者	社会教育関係者	家庭教育関係者	学識経験者	その他	合 計	年間会議回数	
	4 名	4 名	2 名	2 名	3 名	15 名	任 期	2 年

【社会教育委員として行った活動】（あてはまる項目で重点的な活動に◎、その他行った活動に○を記入）

◎	社会教育に関する諸計画の立案		教育委員会への答申
○	調査研究・視察		青少年教育に関する助言・指導
	その他（		）

◇活動のテーマ・重点

住民と行政の協働のまちづくり

1 上記のテーマ設定の理由（市町村の社会教育の現状・課題等）

令和2年度に、委員各自の興味関心があることや気になっていることを挙げてもらい、「行政と住民のパイプ役」という社会教育委員の役割を踏まえて、勝央町社会教育委員会の取組テーマを決定した。

2 活動のテーマ・重点に向けた社会教育委員の活動

- ① 年3回、勝央町社会教育委員会を開催（6/29、10/20、未定）
 - ・社会教育委員の役割、勝央町社会教育委員の取組テーマについて
 - ・令和4年度社会教育事業報告、令和5年度事業計画（案）の説明と意見交換
 - ・令和5年度社会教育事業の途中経過報告、令和6年度特別（目玉）事業
- ② 第45回全国公民館研究集会広島大会へ参加（委員3名、事務局2名）
- ③ 第45回中国・四国地区社会教育研究大会島根大会へ参加（委員2名、事務局2名）
- ④ 社会教育委員と子育て中の保護者の懇談会「子育て広場の保護者と話そう」（2/21 実施予定）
⇒懇談を受けて、委員長企画として任意の茶話会を開催（2/29 開催予定）

3 成果と課題・来年度の方向性

〈成果と課題〉

今年度は、委員長の提案で、子育て中の保護者と懇談する機会を設けた。現時点では未実施だが、パパママたちの率直な意見をお聴きすることで、活動につながるヒントがあることを期待している。

令和2年度から、取組テーマに向けて行動を起こすための話し合いを行ってきたが、具体的な行動につながっていない。要因は、「委員がやりたいこと・気になっていることが様々で、他の委員の意見に賛同できにくい」ことだと感じる。

〈来年度の方向性〉

来年度は新たな任期となるため、委員の入れ替えを検討。新体制で、社会教育委員の役割を理解していただき、社会教育の推進に向け、活発な意見や積極的な活動を行っていききたい。

奈義町社会教育委員の会議

【基本情報】

委員数	学校教育関係者	社会教育関係者	家庭教育関係者	学識経験者	その他	合 計	年間会議回数	
		9 名				9 名	任 期	2 年

【社会教育委員として行った活動】（あてはまる項目で重点的な活動に◎、その他行った活動に○を記入）

○	社会教育に関する諸計画の立案		教育委員会への答申
○	調査研究・視察	○	青少年教育に関する助言・指導
	その他（		）

◇活動のテーマ・重点

きめ細かい社会教育の場面づくり

1 上記のテーマ設定の理由（市町村の社会教育の現状・課題等）

令和5年のコロナ5類移行に伴い、学校支援ボランティアや様々なイベントが復活、あるいは以前より多く開催される事に行事をこなすことに忙殺され、検証や反省が行われていない。

2 活動のテーマ・重点に向けた社会教育委員の活動

9人の委員に、3人ずつ社会教育、スポーツ振興、美術館図書館の3分会を設定し、全体での協議の他に分会でのより細かい討議をした。

委員の資質向上と、見聞を広げることを目的に岡山県の主催する研修に積極的に参加した。また、新しい施設や先駆的な取組を行っている団体などへ出かけてお話を伺う町独自の研修も行った。

3 成果と課題・来年度の方向性

〈成果と課題〉

学校支援ボランティア、子育てトークワイワイ（親育ち応援学習プログラム）など、新たに活動に加わってくれる方も増えており、活動の意義が浸透し、活性化している。

文化センターや図書館の運営に関わるボランティアの育成など検討したい。

〈来年度の方向性〉

奈義町の社会教育委員は画家、模型家、劇作家など全国的な活躍をされている方がおられ、他にも和太鼓指導や伝統芸能などで子どもたちと深く関わりを持つ方も多く、今後はもっと個々の才能や能力を発揮できるように心がけて行きたい。

西栗倉村社会教育委員の会議

【基本情報】

委員数	学校教育関係者	社会教育関係者	家庭教育関係者	学識経験者	その他	合計	年間会議回数	
	1名	2名			2名	5名	任期	2年

【社会教育委員として行った活動】（あてはまる項目で重点的な活動に◎、その他行った活動に○を記入）

○	社会教育に関する諸計画の立案		教育委員会への答申
	調査研究・視察	○	青少年教育に関する助言・指導
	その他（		）

◇活動のテーマ・重点

- ・ 中学校卒業後の子どもたちの居場所づくり
- ・ 親・子どもの多忙さ
- ・ 子育て世代の親の不安軽減

1 上記のテーマ設定の理由（市町村の社会教育の現状・課題等）

- ・ 西栗倉村で育った子どもたちが中学校卒業後、村外で就学、就職しても村に帰ってきた時に住居以外の学ぶ、集まる居場所が無いので帰って来やすい環境づくりが必要となっている。
- ・ 近年の親や子どもは多忙であり、自分と向き合う時間やリフレッシュする時間が必要と感じている。
- ・ 子育て世代の親たちの子育てに対する不安軽減

2 活動のテーマ・重点に向けた社会教育委員の活動

◆西栗倉村社会教育委員会 2回

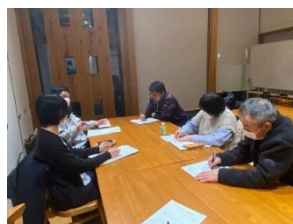
第1回社会教育委員会・・・西栗倉村の昔の現状把握、情報共有

第2回社会教育委員会・・・来年度以降に向けた社会教育委員会としての方向性の決定

◆教育振興基本計画ワークショップ

西栗倉村教育振興基本計画を改定にあたり

社会教育委員も生涯学習の視点でワークショップに参加



3 成果と課題・来年度の方向性

〈成果と課題〉

社会教育委員会が全2回の開催と少なかったため、成果が出せなかった。

〈来年度の方向性〉

今年度の課題を来年度も継続して考えていきたい。

村民とのコミュニケーションを図りながら、社会教育だけに限定することなく他の分野や、他団体との連携を行い、課題解決に向けた情報交換や熟議を行う。

今年度改定された西栗倉村教育振興基本計画を基に、西栗倉村の目指す姿の実現に向けて考えていく。

久米南町社会教育委員の会議

【基本情報】

委員数	学校教育関係者	社会教育関係者	家庭教育関係者	学識経験者	その他	合計	年間会議回数	
	1名	7名				8名	任期	2年

【社会教育委員として行った活動】（あてはまる項目で重点的な活動に◎、その他行った活動に○を記入）

	社会教育に関する諸計画の立案		教育委員会への答申
	調査研究・視察		青少年教育に関する助言・指導
◎	その他（各種事業に参画し、活動内容等を検証する）		

◇活動のテーマ・重点

- ・社会教育委員の役割
- ・事業参画

1 上記のテーマ設定の理由（市町村の社会教育の現状・課題等）

- ア 社会教育委員の役割や活動について理解を深める必要がある。
- イ 多世代が共に学び合い、町民の力を活用した社会教育事業を行う必要がある。
- ウ ふるさと久米南を学び、郷土愛を育む必要がある。

2 活動のテーマ・重点に向けた社会教育委員の活動

①会議の開催 社会教育委員会会議【年2回】…ア

②事業の開催 …イ・ウ

「第7回ウォーキング大会」12.9開催 — 町スポーツ協会主催 —

弓削 ⇒ 神目 ⇒ 誕生寺 ⇒ 竜山 の町内4地区を年度ごとに巡っている。今年度は神目地区。

まちの魅力を歩いて感じるイベント、ウォーキング大会に参加。スポーツ協会長は社会教育委員として活動している。

目的は、楽しく歩きながら、名所や歴史に触れることができるようにスポーツと文化の融合を図ること。約10kmのコースで目指すのは、志呂神社（岡山県指定重要無形民俗文化財—志呂神社御供）。当日は、社会教育委員（文化協会長）と文化財保護委員が詳しい説明を行い、参加者は歴史的な話に耳を傾け、まちの魅力を発見することができた。

3 成果と課題・来年度の方向性

〈成果と課題〉

保育園・小中学生にもチラシを配布したため、親子連れの参加を多く得られた。地元の方も由来を知らない名所、遺跡があり、大変感慨深い様子だった。当日、社会教育委員と文化財保護委員が詳しい説明を行ったことで、より理解を深めることができていた。社会教育委員が関わり、意見を出すことにより年々充実した会となっている。

〈来年度の方向性〉

中央公民館がコミュニティセンターとしてスタートしたので、新事業について協議を行う。

美咲町社会教育委員の会議

【基本情報】

委員数	学校教育関係者	社会教育関係者	家庭教育関係者	学識経験者	その他	合 計	年間会議回数	
	1 名	4 名		2 名	2 名	9 名	任 期	2 年

【社会教育委員として行った活動】（あてはまる項目で重点的な活動に◎、その他行った活動に○を記入）

	社会教育に関する諸計画の立案		教育委員会への答申
◎	調査研究・視察		青少年教育に関する助言・指導
	その他（ ）		

◇活動のテーマ・重点

「学校を核とした地域づくり」における社会教育の役割

1 上記のテーマ設定の理由（市町村の社会教育の現状・課題等）

本町は「子どもの笑顔は みんなの幸せ」を合言葉に、地域ぐるみの子育てを重要施策としており、地域の未来を担う人材の育成と地域の教育力の向上を推進している。令和5年度に義務教育学校「旭学園」が開校し、令和6年度に義務教育学校「柵原学園」開校を控えており、「学校を核とした地域づくり」をどのように進めていくかが課題となっている。

2 活動のテーマ・重点に向けた社会教育委員の活動

- ・美咲町社会教育委員の会議において、町の令和5年度推進方針を確認し、「学校を核とした地域づくり」に向けた具体的な各施策について協議、研究を行う。
- ・岡山県の主催する研修会に出席し、社会教育委員として期待される役割を理解するとともに、他市町村の社会教育委員と情報交換を行い、各委員の見識を深める。
- ・中国・四国地区社会教育研究大会島根大会に参加し、社会教育の振興方策や他市町村の先進的な取組を学ぶ。
- ・友好交流都市縁組を締結している「大阪府岬町」の社会教育委員との交流を図る。

3 成果と課題・来年度の方向性

〈成果と課題〉

- ・県の各研修会（6/16、9/29、11/13）に積極的に出席し（延べ9名）、「学校を核とした地域づくり」の考え方や、社会教育の果たすべき役割を学ぶことができた。
- ・中国・四国地区社会教育研究大会島根大会に参加し（2名）、2日間の大会で「地域の人づくり・つながりづくり」を進めるための方策を学び、地域づくりにおける社会教育の役割について理解を深めた。
- ・町内でも地域づくりの取組に温度差があり、地域の教育力にも差が出ている。

〈来年度の方向性〉

- ・地域と学校をどのようにつないでいくか、本町の具体的な取組について研究を進め、実践につなげていく。

吉備中央町社会教育委員の会議

【基本情報】

委員数	学校教育関係者	社会教育関係者	家庭教育関係者	学識経験者	その他	合 計	年間会議回数	
	1名	4名	2名	1名	1名	9名	任 期	2年

【社会教育委員として行った活動】（あてはまる項目で重点的な活動に◎、その他行った活動に○を記入）

	社会教育に関する諸計画の立案		教育委員会への答申
○	調査研究・視察		青少年教育に関する助言・指導
	その他（ ）		

◇活動のテーマ・重点

社会教育における社会教育委員の活躍機会の拡充と、スキルアップのための研修

1 上記のテーマ設定の理由（市町村の社会教育の現状・課題等）

より多くの社会教育施設や現場を確認することや、社会教育現場に携わることにより、社会教育委員としてのスキルアップを行い、活躍の機会を増やすため。

2 活動のテーマ・重点に向けた社会教育委員の活動

〔全体としての活動〕

- 社会教育委員会における意見交換だけでなく、研修や社会教育施設の視察を行い、各委員から今後の活動に向けての率直な意見や感想を述べた。
- おかやま子ども応援事業及び二十歳のつどい等の事業に参加し、社会教育の推進を図った。

〔個人としての活動〕

- 社会教育委員2名については、家庭教育支援チーム員として拠点活動や、保育園参観日や各小学校の入学説明会などで実施された「親育ち応援学習プログラム」で、ファシリテーターとして進行を行うなどスキルアップを図った。

3 成果と課題・来年度の方向性

〈成果と課題〉

- 社会教育委員として、様々な研修や社会教育施設を視察することにより、幅広い感性を育てる機会を設けることができた。
- 一部の委員ではあるが、様々な社会教育現場に携わることにより社会教育委員としてのスキルアップや今後の社会教育委員の在り方などを考える良い機会となった。

〈来年度の方向性〉

- 社会教育委員及び関係者の研修会や交流機会を提供し、公民館や図書館、地域協働活動などと連携を図りながら、新しい社会教育委員の在り方を検討していく。